

第3 成人保健事業

健康増進法第17条に基づく事業を実施している。

1 健康手帳の交付

市民が各種検診（健診）の受診に関する記録や、健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に役立てるための健康手帳は、市ホームページからダウンロードできる。

2 健康教育

生活習慣病の予防やその他健康に関する正しい知識の普及を図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を図るための健康教育を行っている。

(1) 実施状況

(単位:回・人)

	R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
一般	3	78	15	169	27	395
歯周疾患	—	—	—	—	—	—
慢性閉塞性肺疾患（COPD）	—	—	—	—	—	—
ロコモティブシンドローム	—	—	—	—	—	—
病態別	—	—	—	—	2	42
計	3	78	15	169	29	437

(2) 健康講座

市政だより、チラシ等で参加者を公募し、生活習慣病予防等に関する健康講座を開催している。新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。

3 健康相談

予約制で心身の健康に関する相談に応じ、必要な助言及び指導を行う。

(1) 対象

市内に在住の方

(2) 場所・日時

岡崎げんき館・平日 9 時～16 時

(3) 従事者

保健師、管理栄養士、歯科衛生士

(4) 実施状況

相談内容の内訳（重複あり）

（単位：人）

	R 2 年度	R 3 年度			R 4 年度		
		39歳以下	40～64歳	65歳以上	39歳以下	40～64歳	65歳以上
重点健康相談	高血圧	1	—	—	—	—	—
	脂質異常症	1	—	—	—	—	—
	糖尿病	—	—	—	—	1	1
	歯周疾患	—	—	—	—	—	—
	骨粗鬆症	—	—	—	—	—	—
	女性の健康	—	—	—	—	—	—
	病態別	—	—	—	—	—	—
その他の歯科	1	—	—	—	—	—	
総合健康相談	1	—	1	—	—	1	—
健診結果説明	1	—	—	—	—	—	—
禁煙相談	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—
計	5	—	1	—	—	2	1

4 健康診査

高齢者の医療の確保に関する法律の施行により、医療保険者には、40歳以上の加入者に対し内臓脂肪型肥満に着目した健診（特定健康診査）の実施が義務付けられている。これに該当しない健康増進法施行規則第4条の2第5号に規定される生活保護受給者等に対し、特定健康診査と同等の生活習慣病の予防に着目した健康診査を行っている。

(1) 内容

ア 基本的な健診項目

既往歴の調査（服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査を含む）、自覚症状及び他覚症状の検査、身体計測（身長・体重・腹囲・BMI）、血圧（収縮期血圧・拡張期血圧）、血中資質検査（中性脂肪・HDL-C・LDL-C）、肝機能検査（GOT・GPT・γ-GTP）、血糖検査（空腹時血糖・ヘモグロビンA1c）、尿検査（糖・蛋白）

イ 詳細な健診項目

貧血検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値）、心電図検査、眼底検査、血清クレアチニン

ウ 市独自の追加項目

血清クレアチニン（詳細項目に該当しない者）、アルブミン、尿酸

(2) 対象及び実施体制

医療保険適用除外者（生活保護受給者及び中国残留邦人支援給付受給者）を対象に無料で実施

ア 集団健診：市内在住の令和5年3月31日現在、40～64歳の者

イ 個別健診：市内在住の令和5年3月31日現在、65歳以上の者

(3) 期間及び場所

		期間	場所
集団健診	市内巡回型	6月23日～10月31日	岡崎市医師会公衆衛生センター、市民センター等市内12会場
	健診センター型	6月13日～2月28日	岡崎市医師会はるさき健診センター
個別健診		6月1日～10月31日(休診日を除く) ※眼科検査のみ12月31日まで実施	市内協力医療機関

(4) 受診状況

体制別年次推移

(単位：人・%)

	集団健診		個別健診		計	
	対象者数	受診者数 (受診率)	対象者数	受診者数 (受診率)	対象者数	受診者数 (受診率)
R2年度	613	60(9.8)	975	338(34.7)	1,588	398(25.1)
R3年度	706	56(7.9)	1,018	337(33.1)	1,724	393(22.8)
R4年度	672	71(10.6)	995	345(34.7)	1,667	416(25.0)

(5) 生活保護受給者の健康管理支援

地域福祉課が行う被保護者健康管理支援事業のうち、事前協議した取組方策を実施する。

ア 健診受診勧奨

健康増進課が実施する健康診査および医療機関の受診が過去に一度もない40～64歳の者について、健康診査個別通知を担当ケースワーカーにより手渡しすることで、健診受診勧奨を実施。

イ 医療機関受診勧奨

健康診査の受診結果を地域福祉課へ提供することで、健診結果が「要医療」となった者への医療機関受診勧奨につなげる。

5 訪問指導

(1) 対象

おおむね40～64歳までの療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族等

(2) 実施状況

被指導実人数 0件

6 がん等検診

健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業等の各種健診・検診を実施している。

(1) 各種健診・検診

ア 体制及び自己負担金額

	体制	集団・センター型	人間ドック型	ミニドック型	個別医療機関型	特定健診同時実施型
	対象年齢					
胃がん検診 (胃部X線検査)	40～69歳	1,500円	国保・後期 40歳～64歳： 14,000円 65歳以上： 9,300円 集合契約に属する医療保険被扶養者 40歳以上： 12,000円	国保・後期 40歳～64歳： 14,000円 65歳以上： 9,300円	5,000円 2,000円	500円 無料
	70歳以上	500円				
胃がん検診 (胃内視鏡検査)	50～69歳	4,500円				
	70歳以上	1,500円				
肺がん検診 (胸部X線・喀痰細胞診)	40～69歳	800円				
	70歳以上	300円				
大腸がん検診 (便潜血二回法)	40～69歳	500円				
	70歳以上	無料				
ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査 (単独受診可)	40歳のみ		1,000円			
子宮頸がん検診 (子宮頸部細胞診/隔年受診)	20～69歳		1,300円		2,300円	
	70歳以上		500円		800円	
ヒトパピローウイルス検査 (単独受診不可)	20～49歳		1,500円		1,500円	
乳がん検診 (マンモグラフィ方向・40～49歳二方向/隔年受診)	40～69歳	1,500円	1,500円 (視触診含む)			
	70歳以上	500円	500円 (視触診含む)			
骨粗しょう症検診 (踵部超音波検査またはDEXA法/隔年受診)	20～69歳	500円	女性のみ基本セットに含む			
	70歳以上	無料				
前立腺がん検診 (PSA検査)	65歳のみ	1,000円	40歳以上の男性のみ基本セットに含む	1,000円		個別のみ 1,500円
肝炎ウイルス検査 (HBs抗原検査・HCV抗体検査)	40歳及び41歳以上でH14以降に受診歴のない者		無料			無料

※肺がん検診では、問診の結果、50歳以上で喫煙指数600以上の者に喀痰細胞診を実施。

※子宮頸がん検診（個別医療機関型）の際に子宮体がん検診を同時実施した場合の自己負担金額は、69歳以下：3,200円、70歳以上：1,100円。

※肝炎ウイルス検診は、HCV抗体検査の結果により、HCV核酸増幅検査を実施。

※市民税非課税世帯・生活保護受給者・中国残留邦人等支援給付受給者は自己負担免除。人間ドック型・ミニドック型・HPV検査・ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査は、自己負担金免除なし。

※子宮頸がん検診、乳がん検診については、国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」の「子宮頸がん及び乳がん検診のクーポン券等配布」を活用し、無料クーポン券を利用した受診促進を行っている。無料クーポン券対象者は、全ての体制で該当の検診が無料。

イ 期間及び場所

	期間	場所
人間ドック型	4月～3月	宇野病院、岡崎市医師会はるさき健診センター、富田病院
ミニドック型	6月～2月	岡崎市医師会公衆衛生センター
集団型	6月～2月	市民センター等市内7会場（岡崎市医師会集団検診車）
センター型		宇野病院、岡崎市医師会はるさき健診センター、富田病院
個別医療機関型	6月～2月	岡崎市医師会協力医療機関
特定健診 同時実施型	4 健康診査	(3) 期間及び場所と同じ

ウ 人間ドック型・ミニドック型

市民のニーズの高い人間ドック型健診として、医療保険者が実施する特定健康診査受診時に、がんの早期発見・早期治療推進のためのがん検診や詳細な検査項目を受診できる体制を整備し、市民サービスの向上を図っている。

(ア) 内容

	人間ドック型	ミニドック型
基本項目	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診(男性のみ)、骨密度測定(女性のみ)、眼科検査、聴力検査、肺機能検査、尿検査、貧血検査、生化学的検査、免疫学的検査、血液学的検査、腹部超音波検査、心電図検査、眼底検査	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、腹部超音波検査
必要者のみ	肝炎ウイルス検診、喀痰検査	
オプション項目 (各検診の対象者に準ずる)	子宮がん検診、乳がん検診、ヒトパピローマウイルス(HPV)検査、ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査	ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査、前立腺がん検診

(イ) 医療保険区別受診状況

(単位：人)

	国保加入者	後期高齢者	集合契約	計
R2年度	10,800	2,943	1,155	14,898
R3年度	11,645	3,334	1,194	16,173
R4年度	11,046	3,720	1,229	15,995

(2) 検診受診状況

ア 胃がん

(ア) 主要指標の年次推移 (単位：人)

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
対象者	99,168	100,584	98,297
受診者数	14,803	16,428	15,899
受診率 (%)	14.9	16.3	16.2
要精密検査者	901	1,053	888
要精密検査率 (%)	6.1	6.4	5.6
精密検査受診者数	630	642	628
精密検査受診率 (%)	69.9	61.0	70.7
陽性反応適中度 (%)	1.1	1.8	1.1
がんであった者	10	19	10
がん発見率 (%)	0.07	0.12	0.06

※各年度、翌年4月末時点の数値

(イ) 体制別年次推移 (単位：人)

	集団検診	センター検診		人間ドック型	ミニドック型	個別検診	計
		胃部X線	胃内視鏡				
R 2 年度	1,379	3,493	-	9,140	791	-	14,803
R 3 年度	1,720	4,268	-	9,625	815	-	16,428
R 4 年度	1,023	3,944	728	9,308	773	123	15,899

(ウ) ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査体制別年次推移 (単位：人)

		集団検診	センター検診	人間ドック型	ミニドック型	個別検診	計
R 2 年度	対象者	80	382	63	4	-	529
	受検者	68	348	18	1	-	435
	受検率 (%)	85.0	91.1	28.6	25.0	-	82.2
R 3 年度	対象者	106	409	78	4	-	597
	受検者	89	389	34	3	-	515
	受検率 (%)	84.0	95.1	43.6	75.0	-	86.3
R 4 年度	対象者	36	322	87	7	-	452
	受検者	33	302	42	7	-	384
	受検率 (%)	91.7	93.8	48.3	100.0	-	85.0

※人間ドック型は胃内視鏡検査受診者を含む

(エ) 精密検査結果 (令和5年4月末現在) (単位：人)

	受診者数	要精密検査者	結 果				
			異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
男	7,260	552	23	8	332	-	189
女	8,638	336	24	2	239	-	71
計	15,899	888	47	10	571	-	260

イ 肺がん検診

(ア) 主要指標の年次推移

(単位：人)

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
対象者	99,168	100,584	98,297
受診者数	19,918	22,257	21,311
受診率 (%)	20.1	22.1	21.7
要精密検査者	449	447	432
要精密検査率 (%)	2.3	2.0	2.0
精密検査受診者数	339	333	358
精密検査受診率 (%)	75.5	74.5	82.9
陽性反応適中度 (%)	0.9	1.1	1.2
がんであった者	4	5	5
がん発見率 (%)	0.02	0.02	0.02

※各年度、翌年 4 月末時点の数値

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

年度	集団検診	センター検診	人間ドック型	ミニドック型	計
R 2 年度	1,325	3,816	13,806	971	19,918
R 3 年度	1,607	4,608	15,038	1,004	22,257
R 4 年度	996	4,457	14,849	1,009	21,311

(ウ) 精密検査結果 (令和 5 年 4 月末現在)

(単位：人)

	受診者数	要精密検査者	結 果					再掲	
			異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握	喀痰細胞診受診者数	要精密検査者
男	9,762	259	56	5	149	—	49	220	—
女	11,549	173	49	0	99	—	25	17	—
計	21,311	432	105	5	248	—	74	237	—

ウ 大腸がん

(ア) 主要指標の年次推移

(単位：人)

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
対象者	99,168	100,584	98,297
受診者数	38,485	40,482	38,997
受診率 (%)	38.8	40.2	39.7
要精密検査者	2,688	2,587	2,215
要精密検査率 (%)	7.0	6.4	5.7
精密検査受診者数	1,671	1,314	1,324
精密検査受診率 (%)	62.2	50.8	59.8
陽性反応適中度 (%)	2.3	1.8	2.0
がんであった者	61	47	44
がん発見率 (%)	0.16	0.12	0.11

※各年度、翌年 4 月末時点の数値

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

区分 年度	集団検診	センター 検診	集団(特定) 検診	人間 ドック型	ミニ ドック型	個別(特定) 検診	計
R 2年度	843	3,395	381	13,771	966	19,129	38,485
R 3年度	1,052	3,942	400	14,944	1,007	19,137	40,482
R 4年度	619	4,055	385	14,759	992	18,187	38,997

(ウ) 精密検査結果 (令和5年4月末現在)

(単位：人)

	受診者数	要精密 検査者	結 果				
			異常 認めず	がんで あった者	がん以外の疾患で あった者	未受診	未把握
男	16,382	1,111	217	23	441	—	460
女	22,615	1,104	267	21	385	—	431
計	38,997	2,215	484	44	796	—	891

エ 子宮がん

(ア) 主要指標の年次推移

(単位：人)

		H30年度	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
対象者		79,197	74,904	76,175	76,734	73,141
受診者数		9,344	9,179	7,566	8,516	8,038
受診率 (%)		11.8	12.3	9.9	11.1	11.0
要精密検査者		266	251	198	249	242
要精密検査率 (%)		2.8	2.7	2.6	2.9	3.0
精密検査受診者数		101	119	114	122	132
精密検査受診率 (%)		38.0	47.4	57.6	49.0	54.5
陽性反応適中度 (%)	上段:子宮頸がん	0.3	—	0.5	0.8	1.7
	下段:子宮体がん	—	—	0.5	—	0.4
がんであった者	上段:子宮頸がん	1	—	1	2	4
	下段:子宮体がん	—	—	1	—	1
がん発見率 (%)	上段:子宮頸がん	0.01	—	0.01	0.02	0.05
	下段:子宮体がん	—	—	0.01	—	0.01
無料クーポン券 (再掲)	対象者	1,928	2,005	1,930	1,991	1,860
	受診者数	123	129	92	137	85
	受診率 (%)	6.4	6.4	4.8	6.9	4.6

※各年度、翌年4月末時点の数値

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	個別検診	計
H30年度	1,215 (17)	3,603 (42)	2,371 (－)	2,155 (64)	9,344 (123)
R1年度	1,106 (16)	3,688 (45)	2,202 (－)	2,183 (68)	9,179 (129)
R2年度	768 (13)	2,930 (30)	1,803 (－)	2,065 (49)	7,566 (92)
R3年度	1,159 (23)	3,007 (31)	2,166 (－)	2,184 (83)	8,516 (137)
R4年度	926 (11)	2,921 (27)	2,029 (－)	2,162 (47)	8,038 (85)

※()内は、無料クーポン券事業による受診者数を再掲

(ウ) 精密検査結果 (令和5年4月末現在)

(単位：人)

受診者数	要精密検査者	結果 (結果不明者を除く)					
		()は体部受診掲載	異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
8,038(68)	242(1)		49	5	78	－	110

(エ) ヒトパピローマウイルス (HPV) 検査体制別年次推移

(一単位：人)

		集団検診	センター検診	人間ドック型	個別検診	計
H30年度	対象者	680	1,901	391	1,554	4,526
	受検者	162	1,076	75	1,352	2,665
	受検率 (%)	23.8	56.6	19.2	87.0	58.9
R1年度	対象者	611	1,944	314	1,536	4,405
	受検者	112	992	69	1,324	2,497
	受検率 (%)	18.3	51.0	22.0	86.2	56.7
R2年度	対象者	450	1,452	228	1,425	3,555
	受検者	87	825	37	1,207	2,156
	受検率 (%)	19.3	56.8	16.2	84.7	60.6
R3年度	対象者	621	1,430	305	1,484	3,840
	受検者	127	733	50	1,246	2,156
	受検率 (%)	20.5	51.3	16.4	84.0	56.1
R4年度	対象者	476	1,328	282	1,458	3,544
	受検者	71	662	44	1,202	1,979
	受検率 (%)	14.9	49.8	45.6	82.4	55.8

※対象者は、子宮がん検診受診者のうちHPV検査対象の者

オ 乳がん

(ア) 主要指標の年次推移

(単位：人)

	H30年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	
対象者	62,212	59,801	61,623	62,418	59,496	
受診者数	7,852	7,671	6,080	7,361	6,710	
受診率 (%)	12.6	12.8	9.9	11.8	11.3	
要精密検査者	813	711	433	505	471	
要精密検査率 (%)	10.4	9.3	7.1	6.9	7.0	
精密検査受診者数	312	548	367	360	415	
精密検査受診率 (%)	38.4	77.1	84.8	71.3	88.1	
陽性反応適中度 (%)	2.6	3.2	2.8	6.3	5.9	
がんであった者	21	23	12	32	28	
がん発見率 (%)	0.27	0.30	0.20	0.43	0.42	
無料クーポン券(再掲)	対象者	2,723	2,656	2,587	2,499	2,344
	受診者数	535	517	285	396	403
	受診率 (%)	19.6	19.5	11.0	15.8	17.2

※各年度、翌年4月末時点の数値

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	計
H30年度	1,327 (119)	3,711 (366)	2,814 (50)	7,852 (535)
R 1 年度	1,181 (105)	3,749 (361)	2,741 (52)	7,671 (518)
R 2 年度	796 (57)	2,945 (194)	2,339 (34)	6,080 (285)
R 3 年度	1,275 (99)	3,391 (269)	2,695 (28)	7,361 (396)
R 4 年度	1,015 (97)	3,187 (265)	2,508 (41)	6,710 (403)

※()内は、無料クーポン券事業による受診者数を再掲

(ウ) 精密検査結果 (令和5年4月末現在)

(単位：人)

受診者数	要精密検査者	結 果				
		異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
6,710	471	146	28	241	—	56

カ 前立腺がん検診受診状況

(ア) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	ミニドック型	個別(特定)検診	計
R 2 年度	9	43	6,729	7	114	6,902
R 3 年度	16	52	7,279	7	125	7,479
R 4 年度	8	50	7,194	9	69	7,330

(イ) 精密検査結果（令和5年4月末現在） (単位：人)

受診者数	要精密検査者	結 果				
		異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
7,330	714	59	15	308	—	332

キ 骨粗しょう症

(ア) 体制別年次推移 (単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	計
H30年度	1,333	3,212	8,387	12,932
R1年度	1,096	3,232	8,251	12,579
R2年度	796	2,661	7,240	10,697
R3年度	1,045	2,850	7,931	11,826
R4年度	849	2,820	7,845	11,514

(イ) 検診結果 (単位：人)

受診者数	結 果					
	異常なし	要指導	要観察	要再検	要精検	治療中
11,514	4,276	—	4,134	—	1,620	1,484

ク 肝炎ウイルス

(ア) 体制別年次推移 (単位：人)

	B型			C型		
	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度	R3年度	R4年度
集団検診	157	210	110	157	210	110
センター検診	1,093	1,014	848	1,093	1,016	850
集団(特定)検診	244	285	300	243	279	298
定点(特定)検診		284	299		283	291
人間ドック	720	906	916	726	917	917
ミニドック	73	72	71	73	74	71
個別(特定)検診	1,104	1,228	907	1,105	1,230	904
計	3,391	3,999	3,451	3,397	4,009	3,441

(イ) 年齢階級別検診結果

(単位：人)

	受診者数		B型肝炎ウイルス		C型肝炎ウイルス			
	B型	C型	陽性	陰性	高力価	中・低力価	中・低力価	陰性
						HCV 核酸増幅 検査陽性	HCV 核酸増幅 検査陰性	
40歳	416	418	0	416	—	—	—	418
41～49歳	599	598	—	599	—	1	1	596
50～59歳	447	443	1	446	—	—	—	443
60～69歳	1,179	1,179	1	1,178	—	—	4	1,174
70歳以上	810	803	8	802	2	1	2	798
計	3,451	3,441	10	3,441	2	2	7	3,429

※C型肝炎ウイルス検診の受診者のうち60～69歳：1名は、判定不詳

ケ 脳ドック

脳血管疾患や脳の疾患の早期発見と予防を目的とした、脳ドック検診を実施している。

(ア) 対象

市内在住の40歳以上の者で、前年度に市が実施する脳ドック検診の受診歴がない者

(イ) 内容及び自己負担金額

内容：問診、血圧、頭部MRI（断層撮影）、頭部MRA（脳動脈撮影）

自己負担金額：16,000円

(ウ) 期間及び場所

4月～3月（宇野病院、岡崎市医師会はるさき健診センター、富田病院、ワシミ整形外科、ありま脳神経外科クリニック）

(エ) 募集人数・受診状況

(単位：人)

	R2年度	R3年度	R4年度
募集人数	1,020	1,000	1,000
受診者数	594	891	820

(オ) 年齢階級別受診者数及び結果

(単位：人)

	受診者数	結果				
		判定1 (異常なし)	判定2 (放置可)	判定3 (所見あり)	判定4 (経過観察)	判定5 (要精検)
40～49歳	138	96	25	2	6	9
50～59歳	201	85	62	22	16	16
60～69歳	239	48	124	23	32	12
70～79歳	204	9	95	35	50	15
80歳以上	38	2	15	9	9	3
計	820	240	321	91	113	55

コ 肺ドック

肺がん等の早期発見と早期治療のために、肺ドック検診を実施する。

(ア) 対象

市内在住の40歳以上の者。ヘビースモーカー（多量にたばこを吸う者）、咳や痰が繰り返し出る、家系に肺がん既往者がある、肺の病気が不安な方推奨。

(イ) 内容及び自己負担金額

内容：問診、喀痰細胞診検査（3日法）、胸部エックス線直接撮影、胸部ヘリカルCT撮影

自己負担金額：10,500円

(ウ) 期間及び場所

11月～2月（岡崎市医師会はるさき健診センター）

(エ) 募集人数・受診状況（単位：人）

区分	R2年度	R3年度	R4年度
募集人数	30	30	30
受診者数	22	20	22

(オ) 年齢階級別受診者数及び結果（単位：人）

受診者数	結果			
	判定1 (異常なし)	判定2 (放置可)	判定3 (経過観察)	判定4 (要精検)
22	—	3	18	1

(3) フォローアップ事業

ア 肝炎ウイルス陽性者

肝炎による健康障害の回避、症状の軽減又は進行の遅延を図ることを目的に、肝炎ウイルス検診結果陽性者等に対し、肝炎ウイルス感染の状況を認識させ、必要に応じて保健指導等を行い、適切な医療機関の受診につなげている。

本事業は厚生労働省肝炎等克服政策研究事業「職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究」に情報提供等を行い結果分析している。

また、平成27年度から「ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業の実施について（平成26年3月31日健肝発0331第1号厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室長通知）」に基づく、愛知県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業の「検査費用助成事業」を利用した精密検査受診をすすめている。

(ア) 対象

岡崎市に住所を有し、平成20年度から令和4年度までに肝炎ウイルス検診を受診したもののうち、下記の①②に該当する者

① HBs抗原検査において「陽性」と判定されたもの（以下「B型」）

- ② C型肝炎ウイルス検査において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者（以下「C型」）

(イ) 内容

年1回、調査票を送付し、医療機関受診状況・服薬状況等を把握する。令和4年度受診者については、医療機関受診を勧奨するとともに、事業について案内し、次年度以降の継続支援につなげている。

(ウ) 支援状況

(単位：人)

	対象者数	調査票回答者数	調査票回答者数のうち、 医療機関受診者数
B型	247 (10)	94 (－)	83 (－)
C型	104 (4)	44 (－)	40 (－)
B型+C型	1 (－)	0 (－)	0 (－)

※ () 内は令和4年度受診者を再掲。

イ がん検診要精密検査者

(ア) 対象

令和3年度、令和4年度に胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診を受診した者のうち、要精密検査と判定された者（ただし、子宮頸がん個別検診受診者は除く。）

(イ) 内容

	対象者	方法	実施
検診結果報告及び初回受診勧奨	要精密検査者（子宮頸がん個別検診受診者は除く）	検診受診後約3週間頃に、郵送で検診結果を通知し、精密検査受診を勧奨する。	岡崎市医師会委託
再勧奨	初回受診勧奨後、精密検査受診が確認できない者のうち、40歳から69歳までの者（子宮頸がん個別検診受診者・大腸がん個別（特定）検診受診者は除く）	検診受診後約2か月時点で、郵送で精密検査受診を勧奨する。	健康増進課 保健師
再々勧奨	再勧奨後、精密検査受診結果が確認できない者（子宮頸がん個別検診受診者は除く）	検診受診後約3か月時点で、郵送で精密検査受診状況を調査するとともに、精密検査受診を勧奨する。	岡崎市医師会委託

(ウ) 令和3年度精密検査受診の有無 把握状況

(単位：%)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
精検受診率	72.6	83.2	63.5	59.0	87.1
精検未受診率	—	—	—	—	—
精検未把握率	27.4	16.8	36.5	41.0	12.9

7 岡崎市生活習慣病対策会議

健康増進法に基づき実施する生活習慣病対策を効率的・効果的に実施するため、各種健康診査の分析・評価を行うとともに関係機関の連絡体制の確立を図ることを目的に、専門家で構成する岡崎市生活習慣病対策会議を開催している。

(1) 開催状況

日時：令和5年2月6日 午後1時30分～午後3時 会場：岡崎歯科総合センター会議室	内容 ・令和3年度がん検診実施結果等報告 ・令和4年度がん検診実施状況及びがん対策事業について ・令和5年度のがん検診等事業案について
---	--

(2) 委員

所属	氏名
愛知医科大学 医学部 衛生学講座 教授	鈴木 孝太
一般社団法人岡崎市医師会 会員（消化器科医師）	齋藤 祐一郎
一般社団法人岡崎市医師会 理事（呼吸器科医師）	三治 宏司
一般社団法人岡崎市医師会 理事（産婦人科医師）	鈴木 孝信
一般社団法人岡崎市医師会 会員（乳腺科医師）	大浜 寿博
一般社団法人岡崎市医師会 公衆衛生センター センター長	山田 珠樹
岡崎市民病院 産婦人科 部長	野坂 和外
岡崎市民病院 医局次長 乳腺外科統括部長	村田 透
岡崎市保健所 所長	片岡 博喜